

kei kan ma chi du ku ri tsu shin
 景観まちづくり通信

佐倉散歩

景観整備機構主催「景観まち歩き+セミナー」



景観まちづくり委員会 三代川 剛久

こんにちは、景観まちづくり委員会の三代川です。

今年度は、新しい委員として武士俣委員・三代川委員が加わり、平均年齢を少し下げたスタートとなりました！

それでは今年度の活動について、みなさんに少しご紹介したいと思います。

今回は、歴史的な街並みが色濃く残る佐倉市を舞台に「まち歩き+セミナー」を企画しています。

なぜ佐倉市なのか？

その理由をたどると、昨年度の活動にさかのぼります。

昨年度は我孫子市でまち歩きを行いました。その土地の地理や歴史・文化を学んで巡ったまち歩きイベントは好評をいただき、参加者の皆さんからたくさんのご感想が寄せられました。イベント後に行ったアンケートでは、佐倉市が次の開催希望地の上位に入り、その声に応える形で今年度の開催候補地として選ばれることになりました。



▲写真 総州佐倉御城府内之図(享保2年~享保8年)佐倉城を含む城下町が描かれており、現在と道や商店街などが大きく重なる
 出展:城下町佐倉絵図集成_佐倉市魅力推進部文化部編集・令和6年版より

では、佐倉市にはどんな魅力があるのでしょうか。

すこし歴史について触れてみましょう。佐倉は江戸時代、徳川幕府の要所である「佐倉藩」の城下町として栄えました。

佐倉城址を中心に広がる町並みは、当時の風情をいまに伝えています。また、日本における西洋医学の草分けと

して名高い「佐倉順天堂」が開設されるなど、学問や医療の面でも先進的な役割を果たしてきました。

歩いてみると、寺社や古民家、武家屋敷、商家など、歴史と文化を物語る建物が点在しており、訪れるたびに新しい発見があります。